

---

---

## ホットニュース(平成16年度／第84号)

---

---

### ●今月の業界ホットニュース／水郷柳川の景観

先日、所用の序でに水郷柳川に立ち寄った。3月は雛祭りのシーズンで、この地方では、雛壇の周りを「さげもん」というデコレーションで部屋一杯に飾り付ける華やかな祭方が有名で、観光客も多かった。

やはり名物は舟に乗っての川巡りであり、まだ寒さも厳しく舟遊びには不向きかとも思われたが、コースには満員の客を乗せた舟列が絶えないほどの人気である。舟で巡るという趣向もさることながら、川から見る街並み(川並み?)の落ち着いた佇まいの景観が人気の一端だろう。

車社会になる前は、買い物にも舟を使っていたりして舟の往来も多く、また、戦前は洗い場など生活用水としても水路が使われていたそうで、街並みとして、道路に面した玄関側だけでなく、水路に面した側も人の目につく表の雰囲気もっていたのではないだろうか。

すなわち水路に面した街づくりにも配慮がなされていたと考えられる。

そして今、水路側にはケバケバシ看板もなければ、電柱・電線もなく、各家の水路に面した裏庭は、観光客の目を意識してか手入れが行き届いているようである。水路の多いオランダの洋風建物を、日本風建物に置き換えた景観とも言えるかもしれない。

柳川でも車社会に合わせて、水路を埋める話はたびたび出てきたそうであるが、街の風土や歴史的資産を活かした街づくりがいかに大切かを、改めて感じさせられた。

(代表取締役 堀田 紘之)

---

---

### ●カーフリーデー

---

---

カーフリーデーとは、中心市街地における交通問題に対処するため車利用を控える日を設け、公共交通を利用することにより、まちの中を移動することが出来る事を広く知ってもらうためのイベントです。この日は公共交通の利便性を高める施策も同時に行い、車を利用しなくとも中心市街地に行くことができ、また、まちの中を移動することができることを知ってもらうことを目的としています。

1998年以降EUを中心として、毎年9月22日に世界同時開催され、2002年には1700以上の都市が参加しています。日本では横浜市、名古屋市、松本市が「賛同都市」として登録しています。

横浜市では、昨年NPO団体が中心となり、賛同都市として9月23日にイベントを行いました。ただ、正式なカーフリーデー登録都市となるためには、社会実験を伴う交通規制を行い、9月22日に開催することが必要であるため日本ではまだ実施を見ていません。同市では今年もNPOを中心に9月23日にイベントを行い広くPRをし、正式なカーフリーデー登録都市となるよう準備を進めています。

(第一計画部 大沼 安秀)

---

---

### ●参加型のまちづくり

---

---

2月25日に学芸出版社から「参加型・福祉の交通まちづくり」という本が出版されました。この本には交通バリアフリーの基本構想における市民参加を題材に、ワークショップの手順から市民意見をどう反映させていくか、また市民参加の課題についてなどが書かれています。

交通バリアフリー法のガイドラインなどを作成しているエコロジー・モ

ビリティ財団と(財)国土技術研究センターが編集を行い、土木学会土木計画学研究委員会が監修をしています。弊社も事例編で協力をさせていただきました。

近年、市民が参加して策定される計画が多くなっていますが、本当に市民の意見を生かしているのか、疑問に思っている方にはお薦めの一冊です。

(第二計画部 三浦 春菜)

アルメックホットニュース(平成17年3月15日発行)

////////////////////